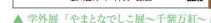


建築・デザイン学部 デザインコース
2 年次「グラフィック演習Ⅱ」履修学生 32 名
担当教員：田中裕子、水川史生
担当助手：田中亜美
連携：一般財団法人出版文化産業振興財団
株式会社 Gakken
9 段下アート・ギャラリー CORSO

イベントでは、ベストセラー「5分後に意外な結末」シリーズを手掛けるイラストレーター usi氏と Gakkenコンテンツ戦略室マスター目黒哲也氏をゲストに迎え、トークショーを実施。前半では、書籍カバーの制作プロセスや、表紙デザインにおけるイラストレーターと編集者の役割について語られた。後半では、学生が演習課題として取り組んだブックカバー・リデザイン



さらに、ブックカバー リデザイン作品は、グラフィック分野2年生による学外展「やまとなでしこ展～千紫万紅～」(2025年1月25日～31日、九段下アート・ギャラリー CORSO)において、他のアート作品とともに再展示された。

本プロジェクトを通じて、学生はブックカバーのリデザイン制作にとどまらず、イベントの企画・運営、会場設計と設置、スケジュール管理、ポスターやDMデザイン、司会進行など、多岐にわたる実践的な経験を積んだ。これにより、協働作業の重要性やリーダーシップの役割を深く理解する機会となった。また、展示を通じて、学生のフレッシュなアイデアやデザイントレンドを反映させながら、本の魅力を広く発信できたと考える。

ブックカバー・リデザイン課題内容

- 1.「古典的作品」のマンガ・デジタル化書籍
『吾輩は猫である』(夏目漱石 著)
- 2.「挫折した主人公の青春小説」のリデザイン
『ライ麦畑でつかまえて』(中村ジョー 著/白水社)
- 3.「売れている本、シリーズ」のリデザイン
『5分後に恋の結末』(Gakken)
- 4.「売れている本、シリーズ」のリデザイン
『なぜ僕は働くのか』(Gakken)
- 5.「図鑑、参考書」のリデザイン
『新恐竜 絶滅しなかった恐竜の図鑑 児童書版』(Gakken)
- 6.「新企画」のリデザイン
『アンデルセン 愛と悲しみの物語』(Gakken)

ブックカバー・リデザイン 課題内容

1. 「古典的要素」のヤングアダルト化書籍
『吾輩は猫である』(夏目漱石 著)
2. 「屈折した主人公の青春小説」のリデザイン
『ライオン街でつかまつる』
(サリジャン著・日本社)
3. 「売れている本、シリーズ」のリデザイン
5分後に恋の結末 (Gakken)
4. 「売れている本、シリーズ」のリデザイン
『なぜ僕らは醜いのか』(Gakken)
5. 「図鑑・参考書」のリデザイン
『新悪魔 絵解きしかなかった悪魔の図鑑
児童書版』(Gakken)
6. 「新企画」のリデザイン
『アマン・カン 夢と恋』の物語 (Gakken)